

## ①教育交流

## 1. 日独中学生派遣交流事業

### (1) 自治体名

|        |                 |
|--------|-----------------|
| 日本の自治体 | 秋田県湯沢市          |
| 海外の自治体 | ドイツ連邦共和国ジークブルク市 |

### (2) 取組内容

#### ○経緯

昭和61年、当時の市長がドイツ政府の招待（県庁時代の農業派遣研修事業により、ドイツの文化・経済・産業を外国に紹介した功績によるもの）を受けドイツ国内を視察した際に、ドイツ国内の都市との交流を希望し、交流先を探したところ紹介されたのがジークブルク市だった。

ジークブルク市と交流に向けた協議は、友好都市提携を結ばずに交流することで合意し、平成3年に本市から中学生訪問団をジークブルク市へ派遣し、以後、隔年で派遣している。

ジークブルク市では、交流に関わっていた市民を中心とした交流団体「ジークブルク独日協会」が平成6年に立ち上げられ、この年から、ジークブルク市からの訪問団を受け入れし、以後、隔年で受け入れており、本市とジークブルク独日協会という形態で交流していたが、平成23年度から、派遣事業に関しては湯沢日独協会主催・市後援、受入事業に関しては共催という形態に移行している。

#### ○成果

湯沢市からジークブルク市への生徒派遣は、平成23年度で11回目となり、64人の生徒を派遣している。逆に、ジークブルク市からの生徒受入は、平成22年度で10回目となり、現在までに68人の生徒を受け入れている。

またこれに付随した文化交流として、市内で活動している太鼓、剣道、弓道、着付けなどの団体がドイツに招聘され公演するなど、教育・文化交流を展開している。

### (3) 取組を紹介しているホームページのURL

|   |
|---|
| <a href="http://aios.city-yuzawa.jp/contents/webyuzawa.nsf/doc/exchange21?OpenDocument">http://aios.city-yuzawa.jp/contents/webyuzawa.nsf/doc/exchange21?OpenDocument</a> |
|---|

### (4) 問い合わせ先（担当課）

|       |                     |       |                       |
|-------|---------------------|-------|-----------------------|
| 担当部署名 | 企画課                 |       |                       |
| 電話番号  | 0183-73-2111（内線436） | 電子メール | kikaku@city-yuzawa.jp |

## 2. ベトナム・ダナン市訪問団招致事業 中学生海外派遣事業

### (1) 自治体名

|        |           |
|--------|-----------|
| 日本の自治体 | 新潟県見附市    |
| 海外の自治体 | ベトナム・ダナン市 |

### (2) 取組内容

見附市は、平成 17 年度からベトナム・ダナン市と相互交流を行っている。ダナン市との交流の中で、言葉や文化・生活様式の違いなどを学び、近年目覚ましい発展を遂げているベトナムの活力にも触れ、多くの刺激を受けるものと考えている。

#### ■ダナン市との交流のきっかけ

平成 16 年に当時の長岡技術科学大学石崎副学長から、これから越越協会を立ち上げるので、見附市長に理事になってほしいという依頼があった。

市長が理事としてベトナム教育訓練省副大臣歓迎会に出席したときに、通訳としてダナン大学学長のご子息である、長岡技術科学大学ベトナム人留学生のタン氏がいらっしゃった。タン氏から、ぜひダナン市と交流してほしいという話があり、市職員や市議会議員、見附市国際交流協会会員などがダナン市を訪れ、交流が始まった。

また、見附市長は以前民間企業で勤務していたときに、ベトナムに駐在していたことがある。ベトナムで勤務していたときに感じたベトナムの活力、人々の温かさなどを、多くの見附市民にも触れてほしいと考えている。

#### ■中学生海外派遣事業

平成 24 年度は、8 月 14 日(火)～22 日(水)に、4 回目となる 6 名の中学生がベトナムに派遣された。派遣された中学生は、ダナン市との交流を通して、言葉や生活様式・国民性の違いに触れ、国際理解を深めることができた。また、異国の地でのホームステイでは、あたたかく優しく迎えられ、コミュニケーションの大切さを学ぶことができた。

中学生海外派遣事業にあたり事前学習会を行っている。その中で、長岡技術科学大学ベトナム留学生から協力してもらい、ベトナムの言葉や文化、生活などを学習する時間を設けている。

#### ■ダナン市訪問団受入事業

現在ダナン市では日本への関心が高く、日本語を学ぶ人が増えている。ダナン市で学ぶ熱心な学生 4 名を見附市へ招き、市内家庭にホームステイしながら学校訪問や地方文化体験などをしてもらおうと同時に、小・中学生をはじめとする見附市民と交流を行ってもらっている。訪問団の受け入れは、見附市が航空費用などを負担して行っている事業である。

今年度は 10 月 3 日(水)～10 日(水)までの期間、見附市を訪問する予定である。訪問団が見附市を訪れるのは今年で 5 回目になる。メンバーは、20 代の日本語を学ぶ学生とダナン市外務局職員で、市内の家庭にホームステイをしながら、様々なプログラムを体験する。ホストファミリーの家庭では、日本の家庭料理を堪能し、日常生活を体験する。短い滞在だが、訪問団からもベトナムの文化・生活などを紹介してもらい、相互交流を図ることができる内容となっている。

### (3) 取組を紹介しているホームページの URL

<http://www.city.mitsuke.niigata.jp/>

### (4) 問い合わせ先（担当課）

|       |              |       |                               |
|-------|--------------|-------|-------------------------------|
| 担当部署名 | まちづくり課       |       |                               |
| 電話番号  | 0258-62-7801 | 電子メール | machi@city.mitsuke.niigata.jp |

### 3-1. 東京インドネシア共和国学校交流事業

(1) 自治体名

|        |           |
|--------|-----------|
| 日本の自治体 | 愛知県東郷町    |
| 海外の自治体 | インドネシア共和国 |

(2) 取組内容

|   |
|---|
| <p><b>【事業目的】</b><br/>                 2005年愛・地球博の一市町村一国フレンドシップ事業で交流したインドネシア共和国との相互交流を更に進めるため、東京インドネシア共和国学校（SRIT）の児童・教師が本町を訪問し、交流することにより、本町における国際交流及び国際理解を推進する。</p> <p><b>【事業概要】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催日：平成23年7月23日～24日</li> <li>・行事名：東京インドネシア共和国学校交流事業</li> <li>・交付金：フレンドシップ継承交付金</li> <li>・受託者：東郷町国際交流協会</li> <li>・対象：東京インドネシア共和国学校児童6名と引率者2名、本町の児童、一般町民</li> <li>・内容：東京インドネシア共和国学校（SRIT）の児童・教師が本町を訪問し、町内の家庭にホームステイするとともに、遊びを通して子ども同士の交流を深める。</li> </ul> |
|---|

(3) 取組を紹介しているホームページのURL

|  |
|--|
|  |
|--|

(4) 問い合わせ先（担当課）

|       |              |       |                                   |
|-------|--------------|-------|-----------------------------------|
| 担当部署名 | 生活部 暮らし協働課   |       |                                   |
| 電話番号  | 0561-38-3111 | 電子メール | tgo-kurashi@town.aichi-togo.lg.jp |

### 3-2. じどうかんこどもまつり

(1) 自治体名

|        |           |
|--------|-----------|
| 日本の自治体 | 愛知県東郷町    |
| 海外の自治体 | インドネシア共和国 |

(2) 取組内容

**【事業目的】**  
 フレンドシップ事業を通して培ったノウハウを活かし、在日インドネシア留学生協会と本町の子ども達との交流を図る。

**【事業概要】**

- ・開催日：平成23年6月12日
- ・行事名：じどうかんこどもまつり
- ・交付金：フレンドシップ継承交付金
- ・受託者：在日インドネシア留学生協会名古屋支部
- ・対象：留学生とその家族、本町の児童
- ・内容：本町のじどうかんこどもまつりに在日インドネシア留学生協会が参加し、民族音楽の演奏や遊びを通して、本町の子ども達と交流する。

(3) 取組を紹介しているホームページのURL

(4) 問い合わせ先（担当課）

|       |              |       |                                   |
|-------|--------------|-------|-----------------------------------|
| 担当部署名 | 生活部 暮らし協働課   |       |                                   |
| 電話番号  | 0561-38-3111 | 電子メール | tgo-kurashi@town.aichi-togo.lg.jp |

## 4. シアトル近江クラブ、トロント滋賀県人会訪問・交流

### (1) 自治体名

|        |                     |
|--------|---------------------|
| 日本の自治体 | 滋賀県彦根市              |
| 海外の自治体 | シアトル近江クラブ、トロント滋賀県人会 |

### (2) 取組内容

明治後半から昭和初期にかけて、滋賀県内の特に現在の彦根市周辺地域から、多くの市民が、北米へ移民した。当初の移民先は、カナダ西海岸のバンクーバーであったが、太平洋戦争を挟み、カナダに残った移民者の多くは、トロントなどカナダ東部に移り住まれた。こういった経緯から、現在のトロント滋賀県人会のメンバーには彦根市やその周辺地域の出身者の子孫が多くおられる。シアトルについても同様の経緯がある。

シアトルとトロントへの訪問がスタートした正確な経緯については不明であるが、彦根市の中学生が姉妹都市であるミシガン州アナーバー市に訪問していることを聞かれた両県人会が、彦根市の中学生の訪問の際に、ぜひ両市も訪問し、県人会メンバーと交流をしたいとの申し出があったようである。本市としても、本市出身者からのお招きであり、参加する中学生たちはほとんど知らない、過去の本市市民による北米移民の歴史を学習する機会でもあるため、トロントへは1981年から、シアトルへは1982年から毎年中学生を派遣している。(2001年<両市>、2003年<トロント>のみ、その年の事情により訪問していない)

なお、両市への訪問は、それぞれ単独で訪問しているものではなく、毎年秋に実施している、本市中学生による、姉妹都市訪問に併せて訪問している。平成23年度は、9月26日～10月10日の日程で、トロント(4日)、アナーバー(8日)、シアトル(3日)の順で訪問した。

### (3) 取組を紹介しているホームページのURL

|  |
|--|
|  |
|--|

### (4) 問い合わせ先(担当課)

|       |              |       |   |
|-------|--------------|-------|---|
| 担当部署名 | 企画振興部企画課     |       |   |
| 電話番号  | 0749-30-6101 | 電子メール | kokusai19691991@ma.city.hikone.shiga.jp |

## 5. 三原市少年少女海外研修・交流事業

### (1) 自治体名

|        |                    |
|--------|--------------------|
| 日本の自治体 | 広島県三原市             |
| 海外の自治体 | シンガポール バレスティアヒル中学校 |

### (2) 取組内容

|   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>○次代を担う子どもたちがシンガポールとの交流を通じて、国際理解を深め、国際感覚を身につけることを目的に、平成8年からシンガポールへの海外研修が始まり、平成13年からはバレスティアヒル中学校からも当市を訪問し、相互の交流を深めている。</li> <li>○本事業は、市内在住の中学2年生を対象に、シンガポールへの海外研修を行っており、平成8年から平成23年までの派遣生徒数は197名、平成13年からの訪日生徒数は118名となっている。</li> <li>○交流では、相互訪問の際にホームステイを組み入れている。それぞれの国の日常生活を体験することにより、文化の違いを知り・認めようとすることや、自分の住む国日本を客観的に見ることが出来るなど、多くのことを学んでいる。</li> <li>○ホームステイ期間中は、学校訪問、関係行事などをはじめ、学校関係者や地域の方々、ボランティア皆さんなど多くの方の協力により、体験プログラム等を実施している。</li> <li>○また、生徒は、8月のシンガポール訪問までに、毎週末土・日曜日を中心に12回程度の研修を行っている。</li> <li>○研修内容は、シンガポールの国情や歴史、英会話、やっさ踊りの練習、土産としての三原だるまの作製、日本や三原を紹介するパワーポイントの作成などである。これらのことにより、自分の住んでいるまち「三原」について再認識し、郷土への愛着を育むとともに、他校の生徒とのつながりを深めるきっかけにもなっている。</li> <li>○この研修が、将来的に、国際協力・国際貢献への関心を持ってもらえるような取組みとなるように、JICAから講師派遣を受け、国際協力について学ぶという取組みも実施している。</li> <li>○毎年、この交流がどうすればもっと良いものになるかということを提案しあい、交流を実施している。</li> </ul> |
|---|

### (3) 取組を紹介しているホームページのURL

|   |
|---|
| <a href="http://www.city.mihara.hiroshima.jp/seishou/index.htm">http://www.city.mihara.hiroshima.jp/seishou/index.htm</a> |
|---|

### (4) 問い合わせ先（担当課）

|       |                 |       |                                    |
|-------|-----------------|-------|------------------------------------|
| 担当部署名 | 三原市教育委員会 青少年女性課 |       |                                    |
| 電話番号  | 0848-64-9234    | 電子メール | seishonen@city.mihara.hiroshima.jp |

## 6. Web 会議システムを用いた国際交流授業

### (1) 自治体名

|        |          |
|--------|----------|
| 日本の自治体 | 鹿児島県徳之島町 |
| 海外の自治体 | タイ国バンコク市 |

### (2) 取組内容

タイ国バンコク市のチュラロンコーン大学の学生と、町内中学校をインターネットのテレビ会議システムで結び、双方向での国際的な交流授業を行った。

離島のハンデを越えて、海外へ視野を広げ、コミュニケーション能力・語学力の向上につながった。また、交流授業内で、初めに自分たちの郷土について相手に紹介するので、事前に調べ、自分たちの郷土の歴史や文化について知る機会となった。

タイ国だけにとどまらず、他の国との交流の機会をどのようにして広げていくかが、課題である。

### (3) 取組を紹介しているホームページのURL

<http://tokunoshima-town.org/>

### (4) 問い合わせ先（担当課）

|       |  |       |  |
|-------|--|-------|--|
| 担当部署名 | 学校教育課、企画課                                |       |  |
| 電話番号  | 0997-82-1308（学校教育課）<br>0997-82-1111（企画課） | 電子メール | gakkoukyouiku@tokunoshima-town.org<br>kikaku2@tokunoshima-town.org |